

川辺川ダム建設に対する県民の意見

私は人吉市内中心部に住む女性です。

人吉市では、毎年梅雨時・台風の時期になると球磨川の水が増水し危険水域に達して、川下の町内は避難勧告が出され公民館・体育館等に避難したり、床上・床下浸水等の被害がでたりと不安な日々を送っています。

我が家は球磨川沿いにありますが、幸いにして避難指示が出たり、被害にあったことはありませんが、同じ市に住んでいるのに町内によっては大雨の度に避難し不安な日々を送らなければならない方々がおられるということがあってはならないと思います。

近年、温暖化の影響か異常気象が続き想像がつかないような災害が多く発生しています。人吉球磨地域も例外ではなく、いつ我が身に災いが振りかかってくるか解りません。

川辺川ダム建設もあとは本体工事を残すのみとなっている今・・・

ダムがいつできるのか分からない状況が今後も続くと・・・

梅雨・台風・異常気象での豪雨で、球磨川の水量が危険水域に達し、住民の避難や、家屋等の浸水で財産消失の恐れがあり、心身的・経済的にも負担が大きい。

水害で人命が奪われる恐れがある

ダム建設で地域住民の水害に対する不安が減り安全が少しでも確保できるのであれば、私は建設に対し賛成をいたします。

私は川辺川ダム建設には、賛成だ。川辺川にダムが出来ると騒がれて、何十年がたつんでしょうか？忘れもしません。私自身昭和38年の局地的豪雨による災害を味わいました。私は、五木村平瀬の出身で小学、中学校と五木で過ごしました。昭和38年の豪雨で、私の家は流されました。その時村ではダム建設で水没する頭地地区に家を建て保証金をもらえばと騒がれていましたが、親は元あった家のすぐ上に家を建てました。あれから40年以上がたちダム問題は、現在に至ってます。その間国は、用地買収、住民の移転と莫大な税金を使ってきました。何百億になるんでしょうか。周回道路も完成間じか、住民の移転も100%近く出来後はダム本体工事だと言うなか、ダム建設反対とはどういう事でしょうか。今まで投じた税金は何だったんでしょうか。国は、ダムから得られる利益を回収して国民に返還しなければならない。近年自然破壊による地球温暖化が、問題となっています。その要因のひとつに世界各地で局地的集中豪雨の発生、日本でもいうまでもありません。熊本県下の梅雨期の雨量一週間で例年の雨量をうわまっています。時間雨量も100ミリ以上と半端ではありません。又一方では水不足。さてダム問題ですが、多目的ダムがよいな。農業用水、飲料水、化石燃料による火力発電の代わりに、自然にやさしい水力による発電、又現在の雨量の傾向から何時間かの水量調整で下流域への水害防止、ダム周辺の美化による観光産業、レジャー産業の発展、ダム事業に関する雇用問題と、住民にもたらす利益は、莫大なものとなります。今まで出来た施設、設備が無駄にならないよう一刻も早い本体着工をお願いします。

私は川辺川ダム事業推進を強く希望する者です。

約四十年前（当時、高校に入学した頃）から川辺川ダムに関しては、色々取りざたされ今日に至っていますが、私の意見を述べさせていただきます。

当初は治水を始め発電・利水を含めた多目的ダムと云う事で計画されて議論され、近年は発電・利水の部門は撤退され治水に関して議論されて

いますが地域住民の生命・財産を守る為には絶対にダム建設が必要と考えます。

近年は局地的な集中豪雨（一時間当たり一〇〇mm近く）が再三あり

先日も神戸では短時間（約一〇分）で急激な増水で尊い生命が失なわれる事故があつたばかりです。

いつ我々が暮らしている球磨地方にも降りかかって来るかわかりません。

災害があつてからでは間に合いません。今すぐダムを建設すべきです。

もちろん必要な箇所は平行して河川の土砂の除去・堤防の嵩上げ等の整備も実施しなくてはなりません。

環境・観光問題もダム建設と同時に検討し解決していかねばいけない重要な課題であります。

又、五木村並びに相良村の苦渋の決断です。

生活の基盤整備が不十分ですので、そちらの方も急がないといけません。

時代の波に翻弄され帰る故郷もなくなった人々の心痛はいかばかりかと推察されます。

色々な人々がおり立場も色々で考えも多種多様でしょうが川辺川ダム建設計画の為、一生の生活をよぎなくされ故郷を失った人々の事も少しは考えてみては如何でしょうか。

世の中は色々な意見があつてしかるべきとは思いますが私は近日中に絶対ダムを建設すべきと思います。

川辺川ダム事業に関する県民の意見

私は、相良村に住んでいます。今、川辺川ダムの建設の是非をめぐって大きな問題となり、注目を集めていますが、四十数年前に計画され今までおこなってきた工事が、何故今になって・・・。

賛成・反対 それぞれの立場で意見があるのは昔も今も同じだと思います。

しかし、昔反対していた村の一部が水没する五木村の方々を説得し、長年住んできた家や土地を手放させておいて、又反対運動が起こったから・・・というのはおかしいのではないのでしょうか？確かにダムが出来ることで、川の環境が変わってしまえば、その恩恵をうけてきた漁民や農民の方々の生活は変わってしまうかもしれません。結局自分が置かれている立場によって「賛成」「反対」あつて当然だと思います。でも五木村の方々の苦渋の決断を考えると、ダムの建設を・・・と思います。

「川辺川ダム事業に関する県民の意見」

私は、多良木町に住んでいますが職業柄、相良村・五木村のダム関連土木工事に関わっています。これまで、数箇所現場において地元住民の話を聞いてきました。ダム建設の話が持ち上がってきた時は、反対であった五木の人たちが下流の人たちのために、苦渋の選択をされ、離村また移住をやむなくされ、今になってダム反対の声が大きくなり地元の方は、「今更」と嘆いておられました。

ダム建設反対の方も、テレビで見ていると地元の住民の方は少なく他県の方が多いのではないでしょうか。もっと地元村民の生の声を聞いてほしいと思います。

又、ダム建設に伴い利水も考えてありましたが、それもなくなり多良木町にも水が来ると期待し、果樹園をはじめられたかたもかなりあったと聞いています。

このように、ダム建設・利水を必要だと待ち望んでおられる人々も多く居られるということを考えて、今一度、ダム建設計画を進めていただき、人吉球磨の活性・農業振興を進めてください。

私は相良村に住む女性です。

それでありながら私の申すはタムは
禁可にはないです。

私が稼いだ頃には、すでにタム問題の

真只申で、移転工の方面が新地を求め

移転された。私の地区にも次々と

家が建ち、十戸の家族が来うしました。

皆さ、苦汁の選択をされて来うした方達を

今まで住み慣れた家と離れる寂しさと新しい土地の

方達とのお話し合い等々、この不安を抱え

ておられました。

老人会、婦人会等に入会して一日も早く

意気投合でまよふたと努めておられました。

飲み会の時、正調五木の子守り唄を聞かせて

下さった男性。我が家に来るとお話し者又

やつけもので、もてなして下さる婦人。一方では

新しいところへ行けば、わらび等の山菜採り

もできなからうと、赤年に採れたトウモロコシを

保存された老女。年老ってから自分の家、

屋敷も手離したニョックから寝こまいて、そのま

まにならうた方もおられました。

近所に来うた頃から、生まれた子供が結婚と

親になす程、時は流れましたが、新しい住人達の

口からもタムのごとは聞けません。聞けない分

事は深刻な事です。

私は、相良村に生まれ育ち今でも相良村に住んでいる32歳（男）です。

私は、少年期より川遊びが大好きで暇さえあれば川へ行き泳いだり釣をしたりしていました。その為、川のすばらしさ又は川の恐ろしさをよく知っています。

いつも穏やかな川も、梅雨時期や台風時期になるとおぞましき姿に変貌します。実際、何度も上流では土砂災害が起き人命が失われていました。私の家の近くでも遺体が数体上がり、今でもその恐怖を忘れることはありません。

最近では、そのような災害は少なくなってきましたが、これはあくまで確立の問題であって、いつ十数年前の災害が再来するかわかりません。人間は「喉元過ぎれば熱さも忘れる」と言われるように、記憶が薄れその恐怖・実体験を忘れようとしているのではないのでしょうか。

今からも、私はこの相良村で生きていきます。その為にも、私たちの子供やこれから永遠に続く子孫のためにも、安全で安心な相良村をつくって頂きたいと強く願うしだいです。

その為には少しくらいの環境破壊は仕方ないのではないのでしょうか。

五木村の人々も、苦渋の選択をし離村をしてくれました。その努力を無駄にしてはならないと思いませんか？

ダム建設をよろしく申し上げます。

私は人吉市内の山間部に住み、地元の建設会社に努めている29歳です。

私の立場から考える川辺川ダム事業について思う事は、中学生の頃球磨川が大雨で増水するたびに、同じ校区の同級生が集会場や体育館に自主避難したり通学路の球磨リにかかる橋のすぐ真下を「ゴォー」とものすごい音をたてて流れている橋の上をビクビクしながら何度も通学していました。

私は大雨の時期に恐怖と隣合わせで生活する経験をした事ありませんが、大雨で増水した球磨川に近づくだけでも怖いのには、球磨川沿いに住んでいる人達は想像を超える恐怖があるのではないかと思います。

会社へ入社した当時は、川辺川ダム関連工事のおかげで給料をもらって生活できるので絶対に必要だと思っていました。川辺川ダム討論会に何度か出席し、賛成の方や反対の方、それぞれ意見を聞いてみて、反対される方の環境破壊や地元特有生物の生存危機、その他予測される話を聞くと、ダムができたなら私達の子供達がきれいな川で泳いだり、おいしい鮎を食べられなくなるので、ダムはいらないのではないかと思ったり時期もありました。

しかし今は各地・各国で想像もつかないような大災害が起きているのをテレビで見ていると、仕事・生活するためのダムだけではなく、絶対に必要だと改めて思うようになりました。

最近、大雨の鉄砲水で川の水位が10分足らずで
1メートル以上も上がり逃げ遅れた尊い4人の命が
亡くなったというニュースが放送されているのを見ました。

球磨川の上流には川辺川や市房ダムからの水が流れていて、
ニュースで放送していたような鉄砲水が一気に流れてきたら
おそらく市房ダムだけでは調整できず球磨川の中流から
下流にかけて住んでおられる方々は避難する間もなく、
流されるのではないかと思ってしまうようになりました。

環境問題や生物の生存についても大切なのは解りますが、
何より第一に私達人間の尊い命の方が優先される
べきではないでしょうか。

いつ、何時、どんな災害が起こるか全く予測できませ
んが、まず今できる事とすれば、一日も早く地震等にも
負けないダムを作り、水害による大規模な危害、損害を
防ぐことではないでしょうか。

切れるように冷たく 豊富な水量。数十年前に
触れた川辺川に対する私の第一印象でした。

それが今となっては、水量は減り、汚れ、大雨の時
だけ、どこにこれほどの水があるのかと思うほどに増水
します。自然の摂理といえはそれまでですが、川辺川の
近くに住む私にとっては、家の前まで増水した川を見る
度に、どうにかならないものかと思うばかりです。いつ我
家が川に浸るかもしれないと不安になる時もあります。
ダムを造って、それが解消出来るのか、それともダムを造
らず自然の力で解消する方法はないものか、正直言って
どちらがいいのかわかりません。

ダム建設計画が持ち上がり、離れ住んだ人達の事を
考えた時、一日も早い着工を願う。地元に住む者
としては、このままの川辺川でいて、ぐんぐん気がします。
計画から数十年過ぎて色々な条件も変わって来たかと思
いしますが、地元の人達にとって、又、離れ住んだ人達
にとって、最善の決断をお願ひします。

川辺川ダム推進について

私は、建設会社で働いていますがダム建設については治水を目的として必要ではと考えています。

今年の梅雨期球磨村の一部が浸水し、人吉市の一部では非難勧告が出ましたが、今年の様な事が毎年のようにつづいていくように思えるのですが：

ダムの賛否についての意見会にも何度か参加しましたが、ダムに頼らず自然（森林）の治水力、護岸の整備、河床の掘削と言った案が出てきましたが、建設現場で働く私いち個人として思うのですが、宮崎県の椎葉村、熊本県の美里町と、五木・五家荘に近い所で山腹等の災害が最近ありました。が、本当に森林の治水を頼っているのだろうか。

日本の三急流の一つ球磨川を護岸・河床を整備し、七月二八日の、兵庫県の水害災害の様な水が出たら護岸ごと流されてしまうのでは、今でさえ護岸の復旧工事があるところで行っているのに、その水量、流速で球磨村、八代まで行くかと思うとぞっとします。

治水ダムによる、出水時の水量の調節が最重要点ではないかと思えます。

実際河川工事をするに当たり今の状態では、出水時期は河川工事は出来るはずがない。そうならば時間も掛かるし災害も出かねない。

今現在、大雨洪水警報が出るたび夜も寝られないであろう人がいること、農作物を作っても毎年のように川が氾濫して困っている人がいる事を考えても早期に決断してもらいたい。

「川辺川ダム事業に関する県民の意見」

私は、川辺川ダム事業に対して、数年前までは、全く無知でした。私が子供の時からニュースや新聞で報道されていたのかもしれませんが政治に関心がありませんでしたし、よくわからなかつたのかもしれない。社会人になって川辺川ダムの事を知りました。何十年前から川辺川ダムについて賛成・反対の議論を行っていること。

それだけ川辺川ダムは、重要な問題だと分かります。今の私は、川辺川ダムについて知識・情報を正確に知っているわけではありません。

ただ、今、思うのは、「なぜ？今、こんなに川辺川ダムが騒がれるのか？」私の中では、長野県の脱ダム宣言から始まっているような感じがします。

そして川辺川ダム建設計画を知って「なぜ？ダムが必要なのか？」を最近、考える様になり身近にある事と言えば、私の家の近くには、幸野溝が流れています。大雨が降っても流量調整がされていて氾濫しないようになっていきます。

父親に幸野溝は、氾濫したことがあるのかを聞くと昔は、氾濫したことがあったことを話してくれました。

その時は、「氾濫したんだ。」と軽い気持ちでした。でも良く考えると今、幸野溝が氾濫しないで安心して暮らせる様になったのは、様々な人の努力があったからだと思ってしまう。対して議論されたと思います。たしかにダム建設の議論は、難しいと思います。

でも私から見た賛成・反対派の印象は、意見がそれぞれ我がの主張がありお互いに歩み寄ろうとしない。犬猿の仲の様に見えます。

もう少しお互いに尊重しあって良い意見がでたら素直に受け入れてほしい。ただ、私が願うのは、未来の子供達に安心して暮らせる世の中を手渡すのが一番だと思います。

五木村は、十年前ぐらいに比べて明らかに雰囲気、がらりと変わっていい町なみです。ダム建設計画があったから今の五木村の姿があると思います。

私は相良村に住んでおります。

毎日の生活を営んでいく時、梅雨及台風
風ミーストの来るたびに、河川災害の
車の頭から離れません。

災害の恐ろしさは、一度も経験されたこと
ない地域の方には想像も出来なうと思
います。災害にあうと、家族道具の片
付け掃除の大変なこと、経済的にも
多大な出費となり、日常生活の困難
になります。会社で勤めていた人は、
休日も休んで、迷心も
ひびくしみます。

普通に日常生活が出来なくなるとも
災害のことから頭から離れず、精神的
肉体的苦痛の伴います。

河川災害をなくす為には、ダムを建設して
地域住民の安心、日常生活の
よきよき願う致します。

地球温暖化より洪水が増えるので
中流・下流には25寸の7"76カニセイ
です。

私はダム建設に賛成です。今、世界中で異常気象が起こっておりそれは日本、ここ人吉・球磨郡も例外ではないと思います。異常気象で大干ばつや大雨のための河川の氾濫が起きた時の準備としてダムが必要だと思うからです。

異常気象の原因の一つである地球温暖化を止めるために、CO₂の削減をしなければいけないことは周知の事で、誰もが自分ができるエコを何かしら行動していると思います。私は生ゴミを堆肥にし、マイバックを持って買い物へ行きます。しかし、一人ひとりが心がけ行動に移している間にもどんどん異常気象は起こっているという不安はぬぐいきれません。

「エベレストが熱を持っている。エベレストは地球の頭だ。それが熱を持つということは人間で言うと発熱しているということ。地球が壊れてきている。」ある登山家がエベレストに登った時に現地の人から聞いたという言葉テレビで聞き、今でも心に残っています。尊い命を守る為に、安心して暮らす為にダムを造り異常気象に備えておくことは必要だと思います。

川辺川ダム事業に関する意見書

近年、地球規模で異常気象が多く発生している事を報道やニュース等でよく耳にするようになり、我が国日本においても信じられない様な風水害が頻繁におきている現状であり、球磨・人吉地方においても避難勧告が出され、自主避難を強いられているケースも少なくないと思います。

これから地球温暖化によって、洪水等の水害が増大するするとマスコミやニュース等でよく聞くようになりましたが、本当にそれに備えるような災害が幸運にも球磨・人吉地方に未だ起こって無いだけで、洪水等の災害が現実発生した時の川辺川ダムの重要性は、実に大きいものだと私は思います。

それに、発電能力を調べて驚いたのですが、ダムが出来るとより人吉・球磨地方のみならず、南九州全体に電気を供給できるとあり、原油価格の高騰や原油の埋蔵量がやがて底をつくと云われている中で、やがて訪れるだろう原油に代わるエネルギーとして大いに我々の生活を守ってくれると実感しました。

それに、人吉・球磨の観光地である球磨川下りですが、観光客から川の水が少なくあまり楽しめなかった、スリルが無かったとの声を聞いたことがあります。実際雨の少ない時期は川下りから観光客が遠退いている様な気がします。

いつでもスリル満点で川下りに来て良かったと観光客に喜ばれる川の流水維持に関してもダムが完成することにより十分威力を発揮できるものと思います。

これは、観光客を多く動員できることにより観光・商業はもとより人吉・球磨が大いに活気に溢れ、住民の生活にも反映される結果になると思います。

鮎等の河川に生息する動植物を守ることに繋がり、昔のような魚等がたくさんいる豊かな川、しいてはそこで生活する我々にとっての豊かさに通じるのではないのかと思います。ダムの建設工事をする事自体が環境破壊ではないのかとの声も有りますが、工事を止めてしまう事こそが、環境を破壊してしまう結果になるのではと考えます。

これまでの工事経過を考えましても代替地を造成し上流域の人々の生活を保護し、あとは工事を再開する状況にあるこの事業を完工に導くことこそが、人吉・球磨に住む私たちにとって安心で潤いのある生活に繋がっていくものだとわたしは思います。

よって、川辺川ダムの工事再開に賛成するものです。

川辺川ダムに関する意見書

人命は地球より重いものと考えます。地域住民が安全で安心して暮らせ、明るい家庭団欒がどれほど望まれることでありましょう。

さて、ひとたび大雨により川辺川、球磨川が増水すると、地域住民は避難勧告を受けたり、心配のあまり一睡も許されない状況ではないでしょうか。行政は、住民を守る権利があると思うのは私一人ではないでしょう。また、昨今は地球温暖化が叫ばれていますが、例えば昨夜(7/30)のNHKの報道で、地球温暖化でチベットでの超高気圧が発生し、日本列島に移動し、日本上空の高気圧の上に超高気圧が重なれば雷や大雨の発生が考えられるという現象が報道されていました。このような状況が起きうるとしたら、大洪水を防ぐことはできないでしょう。とはいっても温暖化への取り組みは個々の、そして大きく言えば国家の取り組むべき問題であり、グローバル的な視野に立っての喫緊の課題であると思います。

ともかく、人命尊重を最重要な問題として、ダム賛成の立場を貫くとともに、知事の英断を期待するものであります。

最近、ニュースで洪水災害で避難勧告が出た水
自主避難としてい状況を見たりします。

川の水位が下がるとに避難するのは負担が
大きいです。ダム設備でかなり水災害を防ぐこと
ができてくるのではないかと。

又、地球温暖化によって水が増えるという
噂があるのでダム建設を、~~赤願する~~ ~~賛成すること~~
お願いします。